



創業百年を越える老舗で
 伝統を受け継ぎ新しい挑戦も
 趣味の旅行を仕事に生かす

株式会社花屋ホテル【旅館花屋】(上田市) 宿泊課 主任 K・Kさん

企業データはP.102に掲載

Profile



2002年生まれ。松本市出身。専門学校未来ビジネスカレッジブライダル・ホテル学科卒業後、2023年入社。上田市別所の社員寮に暮らす。上田のおすすめスポットは生島足島神社。

歴史ある建物で働く誇り

上田市の別所温泉にある、大正6年創業「旅館花屋」の宿泊課で主任として働いています。業務は主にお客様のお出迎えやチェックインの手続き、お部屋のご案内、喫茶やお食事の提供などを担当しています。

当館の特長の一つが、木造建築のほぼ全棟が登録有形文化財に選定されていること。部屋の間取りはすべて異なり、

当時の宮大工による高い技術と遊び心を見ることが出来ます。そのため、建築に惹かれて遠方や海外から訪れるお客様も多く、お喜びいただいています。建物のメンテナンスや庭の手入れは専門業者の方をお願いしていますが、「全員で建物を守ること」を大切にし、私たち宿泊課も自分たちで清掃を行うなど、建物を守り受け継ぐことに共通認識を持って取り組んでいます。

働いていて一番の喜びは、お客様の「ありがとう」「また来たいです」というお言葉です。リピーターの方には名前を覚えてくださる方もいて、嬉しいです。心がけているのは笑顔を大切にすること、お客様との会話を楽しむこと。当館の歴史やおすすめスポットなど、旅を楽しんでいただくために会話の引き出しを増やすことを心がけています。私自身も上田に暮らしてまだ1年半ほどなので、上田城跡公園や「信州の鎌倉」と呼ばれる塩田平の寺社仏閣など歴史や自然を知り、お客様におすすめしています。



伝統を大切に、成長を続ける

入社決め手になったのは、長い時間が育んだ当館独自の空気感でした。古い建物が好きだったこともあり、会社見学に訪れたときに「ここで働きたい」と強く惹かれたのです。経年変化しながらも手入れが行き届いた建物や美しい庭から、従業員の手で大切に受け継がれてきたことが伝わってきました。また、着物で働くことへの憧れもありましたね。普段の接客は着物、お客様のお出迎えは袴、朝食サービスはメイド服と、持ち場に合わせて装いを変えるので気持ちも切り替わります。着付けにもすっかり慣れました。

歴史ある当館ですが、新しいアイデアも大切にしています。毎月研修会を開き、問題点を出し合って改善策を考えたり、料理の提供方法を基本から学び直したり。お客様の声を板前さんに伝えて品質向上を目指すなど、現状に満足せず常に努力を重ねる社風です。

オフは旅行！
 経験を仕事に生かす

休日はカレンダー通りではありませんが、オフに出かけると人混みに遭いにくいのが良いところです。繁忙期を避けて連休を取ることも多いですね。旅行が大好きで、勉強を兼ねて当館と同じ価格帯のホテルや旅館へ友達と泊まりに行くことも。最近では熱海の温泉旅館に泊まりました。体験したサービスで魅力的に感じた点は自分の仕事に取り入れ、部署内で共有するようにしています。

現在は職場近くの寮で暮らしています。休憩時には、自分の部屋に戻って一息入れることも。リーズナブルな寮費に加え、従業員専用の温泉があるのも嬉しい点です。温泉が日頃の疲れを癒してくれますね。